

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年9月8日(14:45~15:55)

6. 連携・協働

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	4人	1人	11人

前回の改善計画	事業所も地域資源の一つという事が理解でき、地域との関わりを意識することができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	自己評価の状況は職域により今回の結果を生み出したもの、情報の共有手段としては会議の報告があるものの、それ止まりである。地域の住民や子供達が日常フランクに事業所を訪れることはまず無い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1		1	7	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1		1	7	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	4	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	6	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な担当者会議での情報の共有。</li> <li>催し物は特養との共有が多い。</li> <li>地域のお祭り、子供神輿、農福連携、案山子作り。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所としてはできているが、個人として関わる事がない、少ない。</li> <li>年間行事が少ない。・生活の場で事業所への訪問はまれである。</li> <li>啓発方法が弱い、独自性がない。</li> <li>催し物に対する変則勤務の壁、意識の低さ。</li> <li>恵香カフェを中止した事で地域で訪れる人がいなくなった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の活動、地域での事業所の役割への理解を深め、地域との関わりを意識しながら支援を行う。	